

多摩市議会の各常任委員会では、それぞれの所管にかかわる市政の課題について、市民のみなさまとの情報共有や意見の聴取のため、意見交換会等を行っています。

今号では、昨年10月から11月にかけて実施した意見交換会の内容をご紹介します。

## 生活環境常任委員会 × 多摩市緑進会<sup>りょくしん</sup>



令和7年10月20日、多摩市内の街路樹や公園の緑の保全・管理をしていただいている、緑進会のみなさんと意見交換会を実施しました。意見交換会では、多摩市の緑に係る現状や課題、また今後の緑の更新についてお話を伺いました。

### 今後の緑の保全・管理をしていく上での課題

多摩市には200ヶ所を超える公園や緑地があり、緑が豊かなことが特徴の一つです。しかし、ニュータウンができてから約50年が経ち、当時植えられた木が大きくなり、古くなってきました。そのため、最近では毎年のように木が倒れるという報告が続いています。日ごろから緑の保全や管理をしてくださっている緑進会の皆さんからは、「これから緑を守るためには、ただ木を剪定するだけでは足りず、計画的に木の数を減らす取組みが必要。今も木を切る作業は行っているが、対象となる木が多すぎて十分な対応ができていない」といった切実な課題が出されました。

今のところ、多摩市では街路樹などの倒木や枝が落ちたことによるけがの報告等はありませんが、そうした事故が起きないようにするためにも、市民のみなさんの理解と協力を得

ながら、持続可能な緑の管理をしていく必要があるとわかりました。

### グリーンライブセンターを楽しく学べる施設へ

緑進会はグリーンライブセンターの運営にも参加しています。意見交換会では、「造園や農業だけでなく、なぜ適切に木を切っていく必要があるのかなどといった環境についても、市民の皆さんに楽しく学んでもらえる場所にしていきたい」という意見も上がりました。

このような環境整備を進めていくにあたり、多摩市議会としてもしっかりと取組んでいく必要があると感じました。



## 子ども教育常任委員会 × 行き渋り・不登校の保護者交流会



二年間のテーマ「誰ひとり取り残されない学びの保障としての不登校支援」を実現するため、当事者の意見をお聞きしようと、「行き渋り・不登校の保護者交流会(以下、交流会)」と懇談しました。当日は14名の保護者のみなさんにご参加いただき、切実な思いや対応に対する提案などのご意見をいただきました。

### 個々が様々な課題を抱える中、不登校支援に思うこと

**子ども教育：**不登校支援にどんな課題を感じていますか。

**交流会：**学校を「居場所」として充実させて気軽に通えるような場にしてほしいです。単にごろごろするスペースを設置したり、保健室登校や給食・部活だけの登校を認めてほしいです。

子どもへの対応で働けない親も多く、フリースクール等は経済的な負担が大きいので、近所の学校で受け入れてもらえるようになってほしいです。

**子ども教育：**学校の対応について教えてください。

**交流会：**毎日の欠席連絡が精神的にも負担になります。担任や校長先生によって対応が異なり、異動のたびに相談が必要になります。無理して登校しなくてよいと言われても子どもの将来が不安です。高校生や若者の相談についても相談の

場がありません。

個別に対応する先生の負担も大きいと感じています。メールや学習用タブレットを活用して連絡手段を統一化することで、負担を減らせるのではないのでしょうか。

### 誰ひとり取り残されない不登校支援の在り方

不登校になると、子どもも親も孤独になることから、子どもとつながれるあらゆる機会を利用して学校内に居場所をつくる必要があります。また、支援情報の提供についても改善が必要です。国や都にも働きかけながら課題に取り組む必要があると感じました。

